行 平成28年3月4日 56 号 第 豊明市立沓掛中学校 PTA広報部

三幹の

ました。私の最も気に入っているフレ 来の姿に願いを込めて作られたもので例え、本校に学ぶ生徒の現在、そして将 す。初代校長の出原鎌雄先生が作詞され るべき姿を大木に育っていく楠の姿に -校の校歌は、沓 掛中学校の生徒のあ]

枝はネットを突き破らんばかりに力強時はフェンスを越える程の高さがあり、払い、少しスリムになりましたが、そのは今も鮮明に残っています。現在は枝を く生い茂っていました。根元から三本に を廻りました。この楠を見た瞬間の驚き沓掛中学校に着任をしてすぐに校地内 ちの一本は根元から幹が三本に分かれ の裏側にも二本の楠があります。そのう います。平成二十三年四月一日、私は、 いますが、校庭の南東、バックネット校地内にはたくさんの楠が植えられ 抱えもあ

した。 で立派になったのかと感無量の思 の楠です。 の大きめの芽を三本残したものが現在 何本もの芽が吹きだしました。その中 ました。しかし、翌春、 れてしまったため、 の木で、 植えられたものです。 しかし、翌春、新たに根元から6ったため、惜しみつつ伐採し植えてしばらくして一本が枯 小指程のか細い芽が、ここま が開 上腕 発の太さ 年目 1 で

にたくましく生きていくことを願うば 目となり、 かりです。 本校は開校してから今年度で三十四年 歌詞に込められた願いのように在 卒業生がこの「三幹の楠」のよう 卒業生は八千人を越えまし

歌ったことを懐かしく思い出します。 死で覚えて生徒と共に新鮮な気持ちで 式に間に合うように作られた校歌を、必びよと繁る楠よ」です。第一回目の卒業

ました。

番の「鍛え鍛えてたくましく

伸

た。 先生と並び沓掛中学校に大きな礎を築 の歴史を振り返る中で初代校長の出原 の学級担任をしていただきました。沓中 いただきました。個人的には開校初年度 のベニ十年この沓中の為にご尽力して 三十四年の歴史の中で、開校の年から、 てご退職されます。原先生は沓掛中学校 てくださいました。 最後に校長の原先生が今年度をも

「長い間ありがとうございました」

り、手探りでやってまいりましたがPT きました。PTA会長という大役を預か A役員・委員の方々にはいつも 昨今はお仕事を持たれ、時間に余裕 々なPTA行事を実施することがで 皆様のご理解ご協力を頂き、今年度も 大変感謝しております。 TA会長 Щ 助けら





そ、皆で少しずつ助け合うPTA活動

校長先生を囲んでPTA会長山田さん副会長東さん・深谷さん 年間有難うございました!

【委員・保護者のひとこと】

《文化部》

動するものがありました。家庭にいるわせ一つになり頑張っている姿には感 時とは違った一面をたくさん見る事が がクラスの友達や担任の先生と力を合 き子供達の学校生活を見ることがで 年間PTA文化副部長をさせて頂 様々な行事に参加する事で子供達 とても充実した一年でした。

《生活部

た。

あう一年でした。 前後期とある中で子どもたちとふれ 道路に広がってしまう事もありまし 朝の挨拶運動と下校指導です。 てくれました。下校指導ではついつい 門で挨拶すると元気よく挨拶をし 生活部の活動を通して主な活動は、 挨拶は笑顔でしてくれました。 三浦

[PTA情報交換事業]

ある。 が大事だと思いました。 Ρ た体験を通じて学べる貴重な場でも 安全・安心を与えられる場であり、 校交流会に参加して活動は学校だけ ではなく家庭や地域をつなぎ、生徒に 十二月十六日に行われた地域小中学 TA活動を目指し楽しく行うこと 保護者が協力し合ってより良い 阿野北 加藤 ま

《薬物乱用防止に参加して》

ちが少しでも多くの危険なことに対 能性があること多感な時期の子供た もがいろんな危険に巻き込まれる可 子供たちの笑顔が無くなってしまう してバリアが出来る知識を保護者の れから高校や社会に出ていく中で誰 危険があることを改めて思いまし 方が与えていかなければ、守るべき この講習会で感じたことは、こ



たので良かったです。 ながひとつになっていい歌が歌え ても嬉しく思います。最後は、 の結果が優秀賞という形で残り、と ねに必死に練習をしてきました。そ僕たちは、体育大会の悔しさをば 青葉の歌 二年 矢口 航

作ることが出来たので良かったで した。最高の仲間と最高の思い出を 重なり合い団結する姿に感動しま 練習の中で、みんなの声が幾重に みえない樹 三年 船本 皐月

した。 れる道を歩き始める女の子を描きませ過去から未来へ沢山の可能性が溢今までの背景画の一部を組み合わ だわった作品になりました。 部員全員で線一つ一つにもこ 寧

《合唱コンクール♪》

祭にも生かしていきたいです。 た。この経験を、来年再来年の文化 もった合唱をすることが出来まし では、みんなで声を合わせて心のこ 愛のうた みんなと一生懸命練習して本番 年 近藤 麟太郎





合唱部



2 最優秀賞を狙って 最後のリハーサル





選手宣誓



見よ!この姿 かっこいいね!! 息を合わせて せーの!

1 年生

2 年生

3 年生

我武者羅 ~熱く燃える!沓掛魂 パワー全開





きし古典落語の鑑賞会が行われまし目・二十八年三月真打ち決定)をお招真打ち)、林家ぼたんさん(落語 二つ文化祭二日目は、桂扇生さん(落語 広報部 山田 雅子



TA文化的事業 落語パラダイス」

、笑う門には福

声が響き渡り、短い練習期間の中一開催されました。子供たちの元気なされましたが、沓中魂で体育大会が、月十八日金曜日前日の雨が心配《体育大会》

生懸命頑張りました

W優勝!!

蒼氷海賊

この美しさに感動

おめでとう~!!

のあちらこちらで笑い声が。 といった古典落語を披露すると会

(てんしき)」 桂扇生さんが

「時そば」

林家ぼたんさんが

て

の原型の記録は現存するも

で笑っていたの。二八九年前のするもので一七い声が。時そば披露すると会場

一六年(享保十一年)。

人たちも同じところで笑って

しょうか……

まずはじめに、落語の解説が行わ にか無意識に身構えてしまっていた が薄くなってしまった伝統文化。ど に今の子どもたちにとっては馴染み が薄くなってしまった伝統文化。ど で決まった六名の生徒が舞台にあが が薄くなってしまった伝統文化。ど であろう観客である生徒たちでした



盛り上がる生徒たち、 台と観客が 体となって









も生徒たちと共に貴重な時を共有し来て楽しかった」など、保護者の方歌しているのかを垣間見ることが出いかに青春を謳んの少し覗くことができよかった」 生』の落語の世界。その入り口をほ声や、「普段では触れることのない』語を聴いてみたい」と名残を惜しむってしまったの!」「もっと本物の落 を十五分ほど超過しても 瞬く間に時は過 七年度の文化祭は 「もう終す」定終了時間 た "む落わ間 し方出謳 ほ









お助け隊の皆さま、また夏休み中にも関わらず水 やりを毎日してくださった保護者さま、ありがと うございました!!先生方の植えたチュウリップ の球根が春には何色に咲くのか楽しみです。

者 楽 の務 *光・・ いなたのに しの時間 -業を 方 主 で は い り な が 多く本年 が 多く本年 助け 手を待ってい 隊 の募集 年先 0 度生 です 7 はを Þ 教い で活中 ま 頭 動心 ŋ 鈴 に に ま あ 木まで) あ 3 す ŋ

*

*

*

た年

り生

笑 いまの

あ L 保 一月下旬 駐車場案

コンクール 十月下旬曜日の水やり 植え込み

沓中お助け隊活動◆◆



PTA後期活動報告

おはようございます!元気に登校しています。











朝の会 学級委員から の連絡事項を 真剣に聞いて います。



交通ルールを守って下校します!!





9月5日 母と女性教師の会 5 日 市 P 連第 2 回役員会 12 日 PTA 第三回役員会 18 日 体育大会への協力 10月2日 校区内清掃活動への協力 5~9 目 PTA 挨拶運動 17 日 第65次教育研究愛知県集会記念講演 テーマ「子供の目は輝いていますか」 子どもにやさしいまちと学校作りの

27~28 日 文化教育事業・文化祭への協力 11月19日 下校指導

28 日 PTA 第 4 回役員会・委員会 (俳句審査) 12月5日 子育て支援地域交流会

5 日 市 P 連第 3 回役員会 7 日 俳句コンクール表彰

16 日 PTA 情報交換事業

1月9日 PTA 第5回役員会・委員会

27 日 給食試食会

2月6日 PTA 第6回役員会・委員会 3月4日

PTA 新聞「楠の木」第56号発行 3月4日 卒業証書授与式への協力

4月16日 新旧委員合同委員会

21 日 平成 28 年度 PTA 総会

■編集後記■

PTA新聞「楠の木」発行にあたり、ご多忙にも係 らずご寄稿頂きました皆様方に厚く御礼申し上げ ます。一年間ありがとうございました。

部長: 土方 幸子 副部長:深田 編集担当:加藤 壽子 西村 和子 雅子 原田 山田 瞳

太田 景子 小出 春美



広報部

沓中ホームページアドレス

http://www.toyoake.ed.jp/kutsukake-jhs/index.htm